

# 週単元テストの【チャレンジテスト】の実施方法について（案） （再テスト）

学推担当：高木・教頭

学習評価は、学校における教育活動に関し、児童生徒の学習状況を評価するものです。「児童生徒にどういった力が身に付いたか」という学習の成果を的確に捉え、**教師が指導の改善を図るとともに、児童生徒自身が自らの学習を振り返って次の学習に向かうことができるようにする**ためにも、学習評価の在り方は重要であり、教育課程や学習・指導方法の改善と一貫性のある取組を進めることが求められます。

「学習評価の在り方ハンドブック」より

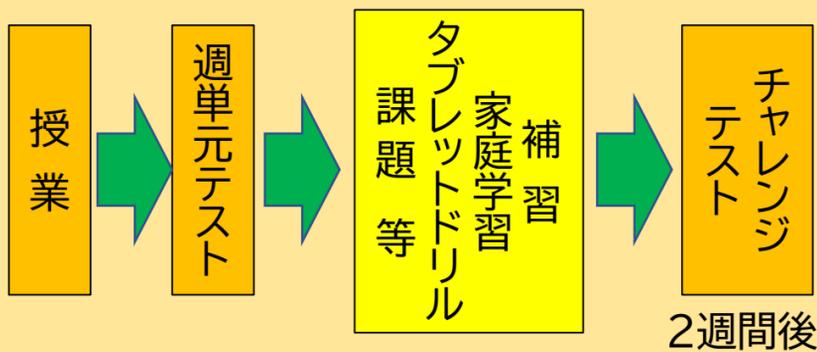
生徒自身に自らの学習を振り返らせるとともに「資質・能力」を着実に育てていくためには「再テスト」の機会は大切であると考えます。

ただし、再テストを何度も繰り返すことや、各教科でバラバラに再テストの時期や時間を設定することは、教師・生徒の双方に負担であり持続可能な取組とは言えません。

そこで、単元テストの結果を受けて、補習や家庭学習・課題などで復習させたあとに再テストにチャレンジさせるといった学習サイクルを設定することが有効であると考えます。



## 与那原中学校【チャレンジテスト】システム



- ①受験は原則1回とする。
- ②単元テストの2週間後に設定する。
- ③週単元テストのある火・金の放課後に実施する。
- ④テスターは学習支援員で行う。
- ⑤希望者全員が受験できるが、指定された課題等に取り組んでいることを条件とする。
- ⑥点数がアップした場合は単元テストの結果を書き換える。

## ◎チャレンジテストの実施モデル

月	火	水	木	金	土	日
5/15	5/16	5/17	5/18	5/19	5/20	5/21
	理科 単元テスト	単元テスト返却・チャレンジ課題提示		チャレンジ課題取組		
5/22	5/23	5/24	5/25	5/26	5/27	5/28
チャレンジ課題取組						
5/22	5/23	5/24	5/25	5/26	5/27	5/28
	英語 単元テスト					
	理科 チャレンジ テスト					

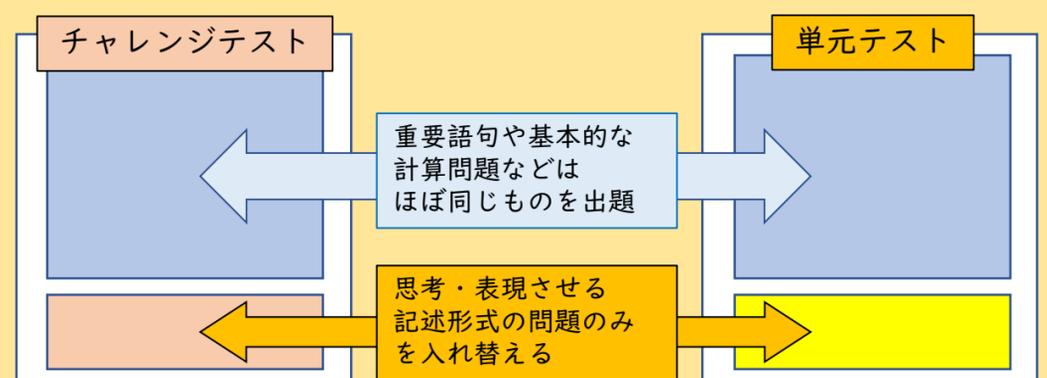
単元テストで設定した合格ラインに達していない生徒を対象にチャレンジテストの受験日を予告します。その際、受験するための条件として必要な課題も併せて示します。

課題内容は教科で設定して構いませんが、タブレットドリルで設定すれば取組状況などを把握できるので便利です。

授業などを通して、課題の取組状況やチャレンジテストの実施日について確認します。

時間 15:30～15:55 (単元テスト終了後)  
場所 各学年で指定された教室  
(例 各学年1組など)  
テスター 学習支援員で対応  
1年:網敷 2年:新崎 3年:東盛  
※対象生徒が多い場合は教科で対応

### チャレンジテストの作問の例について



単元テストと全く同じ問題にしてしまうと、生徒はただの解答暗記になってしまいますが、まったく同じ質の問題を2つ作ることも難しいことです。  
**重要語句や基本問題等は同じものを設定し、思考・表現させる記述問題のみを入れ替える**などの工夫により、負担を小さくして作問できると考えます。

職員室の学年掲示板や学年フロアなどに今週の単元テスト・チャレンジテストを表記するなどの意識づけの工夫をお願いします。